

ときめきセミナー 2015

# 魅力的な **コトモノ** づくり

つくる **コトモノ** つたえる **コトモノ** つながる **コトモノ**



## 会場アクセス

カンファレンス ASC (アスク)  
福岡市博多区博多駅東 1-16-25 TEL:092-411-0026

■JR  
「JR 博多」駅下車 筑紫口から徒歩約 5 分

■福岡市地下鉄  
「博多」駅下車 筑紫口から徒歩約 5 分

\*会場には駐車場がございません。近隣の有料駐車場に駐車いただくこととなりますので、できるだけ公共の交通機関をご利用ください。

## 参加申込みフォーム

参加申込みフォームに必要事項をご記入の上、下記の事務局まで FAX いただくか、「ときめきプロジェクト」のホームページにある申込みフォームからお申し込みいただけます。

なお、申込締切は **8月21日(金)** とさせていただきます。 □にはチェックを入れてください。

ふりがな	ご所属 (活動先・活動内容でも構いません)		
お名前			
ご住所 〒	(□ご自宅/□勤務先等)		
TEL (□ご自宅/□勤務先等)	FAX	(□ご自宅/□勤務先等)	
メール	(□ご自宅/□勤務先等)		
セミナーを知ったきっかけ	<input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ウェブサイト( ) <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> 知人紹介 <input type="checkbox"/> その他( )		
参加日	<input type="checkbox"/> 両日参加	<input type="checkbox"/> 28日(金)のみ参加	<input type="checkbox"/> 29日(土)のみ参加
選択プログラム	午前の部: <input type="checkbox"/> 分科会 A <input type="checkbox"/> 分科会 B	<input type="checkbox"/> 分科会 C *分科会 Cは午前/午後の連続プログラムです。	
	午後の部: <input type="checkbox"/> 分科会 D <input type="checkbox"/> 分科会 E		
交流会 (3,000 円 / 参加自由)	<input type="checkbox"/> 参加	<input type="checkbox"/> 不参加	
「ときめきプロジェクト」からのご案内	<input type="checkbox"/> 希望する	<input type="checkbox"/> 希望しない	

ウェブ上での申し込みは、 で 🔍 検索 <http://tokimeki-press.jp>

- \*応募多数の場合は抽選となりますので、ご了承ください
- \*お預かりした個人情報は、本セミナーの受付事務においてのみ使用させていただきます。
- \*セミナー参加費(資料代)、交流会参加費(希望者のみ)は、当日受付にてお支払いいただきます。

## お申し込み・お問い合わせ先

ときめきセミナー事務局 (担当: 樋口、船津丸)

092-984-1313 [marulab@maruworks.org](mailto:marulab@maruworks.org)

811-1344 福岡市南区三宅 2-9-28 NPO 法人まる内 092-984-1395

近年、障害福祉サービス事業所や地域活動支援センターなど、利用者の工賃アップを図るために新たな仕事の展開を考えている福祉施設が全国的に増えてきています。

現在、福岡市内で障がいのある人たちの就労に携わる福祉施設は 200 カ所を越えており、施設利用者の仕事開拓を始め、商品力の向上、販路拡大などを学ぶ場が必要とされてきています。製造はもちろんのことながら、障がいのある人たちの特性を活かした商品開発、販路を拡大する営業や販売管理、商品価値を伝えるブランディングやデザインなどの知識や人材をはじめ、働くことの対価を還元するシステムをつくるが必要となってきており、その現場で働く職員のスキルアップも期待され始めています。

そこで今回、そのような課題を学ぶ場として、「魅力的なコトモノづくり」と題したセミナーを開催します。先駆的な取り組みを行っている講師を招き、障がいのある人たちの仕事・役割の創出から工賃アップにまつわるさまざまな事例をお話いただき、参加者の皆様が今後の活動に活せるノウハウを提供できたらと考えています。また、商品づくりに必要なデザインやマーケティングのノウハウ以外にも、ものづくりに取り組む以前の考え方など、障がいのある人たちへの就労支援について学び合うとともに、さまざまな情報を共有できる参加者同士のネットワーク構築も図れたらと願っております。

本セミナーでは、障がいのある人たちの仕事の可能性を広げていくと同時に、福岡の福祉力向上を目指し、障がいのある人たちも受容できる地域づくりの一環としても考えておりますので、多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。

# 2015年 8月 28日(金) ~ 29日(土)

時間: 28日(金) 13:30~17:15 (13:00より受付開始)  
29日(土) 10:00~16:45 (9:30より受付開始)

会場: カンファレンス ASC (アスク)  
28日(金): 1F 会議室  
29日(土): 3F A会議室、4F A会議室、4F B会議室  
福岡市博多区博多駅東 1-16-25 TEL:092-411-0026

定員: 150名 \*応募多数の場合は抽選となります。  
参加費: 2,000円 (資料代として) \*1日のみの参加でも同額となります。  
対象: 福祉事業所/作業所職員、障がい者就労の中間支援団体、その他興味のある方など  
主催: 福岡市  
企画・運営: (株) C.E.Works、maru lab.

1日目 / 8月28日 (金)

- 13:00~13:30 参加者受付
- 13:30~13:40 開催挨拶、プログラム説明等
- 13:40~14:40 基調講演 (60分)

「就労支援事業所の動向と工賃アップの必要性」

障がいのある人たちの仕事を創出していくために、福祉施設の課題から今後どのような動きが必要なのかをお話いただきます。

講師：末松忠弘 (社会福祉法人明日へ向かって 主宰)



1972年、福岡生まれ。西南学院大学在学中に各種大学で活動するボランティアサークルの連合会を結成し、学生ボランティアの派遣やアウトドアのイベントを企画運営。企業と福祉施設のバイスづくりを発起し、月刊「ふくおか経済」の記者を歴任。1999年に無認可施設「たちばな共同作業所」の運営を担い、2003年に社会福祉法人を設立。店舗型施設の展開や障がい者の生活をトータルで支える仕組みづくりに精力的に取り組んでいる。福岡市障がい者等地域生活支援協議会委員、福岡市ときめきプロジェクト推進委員会委員、福岡市東区社会福祉協議会理事、福岡市民間障がい施設協議会事務局、福岡県肢体不自由児者福祉連合会副会長、全国地域生活支援ネットワーク理事

14:40~15:40 実践報告 (60分)

「いふき福祉会の事例から」

〈win-win〉の関係ではなく〈happy-happy〉の関係を構築する「いふき福祉会」(岐阜県)の活動事例から、利用者の役割を生みだし、施設が地域で必要とされる仕事創出についてお話いただきます。

講師：北川雄史 (社会福祉法人いふき福祉会 専務理事)



1969年京都生まれ、神戸育ち。大学で心理学を専攻後、印刷会社勤務を経て1997年「いふき」に就職。障がい者福祉の道へ踏み込む。2001年より第二いふき施設長。2007年誕生の「招き猫マドレーヌ」はいふきの看板商品。JR岐阜駅のアンテナショップ名にもなっている「ねこの約束」をはじめ、「百々染」「りすのほっぺ」等、オリジナルブランドを多数生み出す。重度重複障がいと向き合いながら、「大好きなこの街」でひとりひとりが「かけがえのない存在」であり続けられる地域づくりを描き、モノづくりから一歩ふみこんだ「コトづくり」に挑戦し続けている。好きな言葉は「リスベクト」「誇り」。二女一男の父親。2015年より現職。

15:40~15:50 休憩

15:50~17:00 トークセッション・質疑応答

17:00~17:15 2日目の説明、終了挨拶、閉会

18:00~20:00 交流会

(参加費:3,000円 / 希望者のみ) 会場近くの飲食店で行います。

2日目 / 8月29日 (土)

- 9:00~10:00 参加者受付
- 10:00~12:00 選択プログラム 午前の部 (120分)

分科会 A 「広がりを生み出す商品開発」

昨年「ときめきトライアル」で実践されたプロジェクトの事例から、従来の施設商品を継続可能な販売につなげていくための課題やノウハウを学びます。

講師：先崎哲進 (テツシンデザインオフィス代表)



佐賀県唐津市出身。九州芸術工科大学卒業。在学中より、現代美術家藤浩氏・柳幸典氏に学びながらアートの現場を体験する。卒業後、テレビ局にてグラフィック・ウェブ制作の経験を得て、2006年独立。友人たちとシェアオフィス桜坂事務所を立ち上げ、苦楽を共にする。2009年「テツシンデザインオフィス」を設立、博多区山王マンションに事務所を移す。2013年より、東区箱崎に事務所を移し、商店街の中のデザイン事務所として運営。2015年に障がいのある人たちの自立をサポートすることを目的とした「(株)ふくしごと」を共同設立し、クリエイティブディレクターとして様々なデザインを手がけている。

講師：山崎和美 (ほのぼの HaKaTa)



1984年生まれ。川崎医療福祉大学医療福祉学部臨床心理学科卒業。医療機関や一般企業で事務職として社会人経験後、2011年、瀬上医療福祉専門学校にて精神保健福祉士の資格を取得。博多共同作業所(現:ほのぼの HaKaTa)に入職し、主に、施設内での内職作業や企業への就労支援に従事。2013年、工賃アップのため、マルセイユ石けん作りを始め、試行錯誤の日々を送る。2014年6月、施設併設のショップ「雑貨屋 Honobono」のオースンをきっかけに、ノートや他雑貨を作る取組を開始。マルセイユ石けんは、2014年福岡市ときめきセレクション金賞を受賞。

12:00~13:30 休憩 (昼食)

13:30~15:30 選択プログラム 午後の部 (120分)

分科会 D 「施設の事例から学ぶ営業戦略と販売計画」

「ワークショップたちばな」で行われている菓子製造・販売、カフェ運営、「ありがた屋」の店舗運営など、それぞれの事業の営業戦略と販売計画の立て方などについてお話いただきます。

講師：上谷洋子 (ワークショップたちばな)



1980年、太宰府生まれ。いくつかの職場を経験後、知的障がいのある妹への思いもあって、施設に転職。ワークショップたちばなの菓子部門を担当し、売上の向上に貢献。次々とヒット商品を開発し、営業にも注力している。如水庵と「博多サスレはつこい」を共同開発したり、日比谷花壇との共同カタログを企画するなど企業との連携を進めている。菓子部門のリーダーを経て結婚、出産し、復職後はディレクターとして後輩の指導にあたりながら、営業活動を推進している。

15:45~16:30 クローキングディスカッション

15:45~16:30 終了挨拶、閉会

分科会 B 「施設でのアート活動の取り組み方」

近年、アート活動を主体とした福祉施設が全国的に増えています。障がいのある人たちの感性を引き出すアート活動の環境づくりと商品化についてお話いただきます。

講師：山中理恵 (ひまわりパーク六本松)



障がい福祉サービス事業所ひまわりパーク六本松アート作業支援員。1985年からインスタレーションを中心に創作活動に入る。2005年に福岡市植物園の清掃作業に従事する14人のメンバーの支援員となり、余暇活動の一環として「PEECE PLANT」というグループ名で展覧会発表を重ねる。2012年に開所したひまわりパーク六本松ではアートを作業として位置づけ、メンバーの制作支援、一筆せんやカレンダーなどのアートグッズのデザインを行っている。

分科会 E 「利用者の特性を活かした環境づくり」

「新しくつくる」のではなく、「今ある環境を活かしてつくる」。施設利用者がやりがいを感じて営む環境づくりと地域とつながる価値を生み出す商品づくりについて学びます。

講師：北川雄史 (社会福祉法人いふき福祉会 専務理事)



1969年京都生まれ、神戸育ち。大学で心理学を専攻後、印刷会社勤務を経て1997年「いふき」に就職。障がい者福祉の道へ踏み込む。2001年より第二いふき施設長。2007年誕生の「招き猫マドレーヌ」はいふきの看板商品。JR岐阜駅のアンテナショップ名にもなっている「ねこの約束」をはじめ、「百々染」「りすのほっぺ」等、オリジナルブランドを多数生み出す。重度重複障がいと向き合いながら、「大好きなこの街」でひとりひとりが「かけがえのない存在」であり続けられる地域づくりを描き、モノづくりから一歩ふみこんだ「コトづくり」に挑戦し続けている。好きな言葉は「リスベクト」「誇り」。二女一男の父親。2015年より現職。

注) 分科会 C は、午前 / 午後と連続受講となります。

分科会 C 「おもいを伝える売り場づくり」

午前の部の前半は、まず、小売業の立場から見た障がい者施設商品の現状、ショップが目指すビジョンについてお話いただきます。後半は、参加者に持参いただいた商品をグループに分かれて紹介していただきます。

講師：中村伊久夫 (一丁目の元気)



NPO 法人北九州小規模連 障がい者自立支援ショップ「一丁目の元気」マネージャー、かちゃ店主。北九州市在住。1998年、大学在学中に「工房まる」と出会い、障がい者の表現活動の可能性を知る(その後長らく「福祉事業所」は「工房まる」と似たものと思っていた)。2012年、福祉事業所が製作した商品を専門に取扱うショップ「かちゃ」を北九州市門司港にてオープン。2014年に閉店。2015年より現職。福祉事業所の商品、技術を媒介に様々なヒトが集い交わっていく場となるよう、開店7年目を迎えた「一丁目の元気」の構造改革に取り組んでいる。

\*分科会 C に参加される方は、施設(所属されている、または活動に関わられている)の商品(1~3点)を当日お持ちいただくようお願いいたします。

食品、雑貨、アクセサリーなど施設で制作されている商品であれば、何でもかまいません。

分科会 C 「おもいを伝える売り場づくり」

午後の部では、グループワーク形式で架空のショップをつくります。ショップのコンセプト、商品セレクトについてグループで話し合い、売る側の目線でショップづくりを体験していただきます。

講師：中村伊久夫 (一丁目の元気)



NPO 法人北九州小規模連 障がい者自立支援ショップ「一丁目の元気」マネージャー、かちゃ店主。北九州市在住。1998年、大学在学中に「工房まる」と出会い、障がい者の表現活動の可能性を知る(その後長らく「福祉事業所」は「工房まる」と似たものと思っていた)。2012年、福祉事業所が製作した商品を専門に取扱うショップ「かちゃ」を北九州市門司港にてオープン。2014年に閉店。2015年より現職。福祉事業所の商品、技術を媒介に様々なヒトが集い交わっていく場となるよう、開店7年目を迎えた「一丁目の元気」の構造改革に取り組んでいる。